



Conservation Alliance Japan

一般社団法人 コンサベーション・アライアンス・ジャパン



セブン-イレブン記念財団

BLUE SHIP

NPO 法人 株式会社実行委員会

企業概要

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です

世界を変えるための17の目標



活動概要

NPO法人ゆいむすび実行委員会とは

活動実績

実行委員会メンバー

2023年 プロジェクト

協賛 後援企業様ご紹介

NPO法人ゆいむすび実行委員会とは

奄美群島の環境の保全を図る活動や SDGs を推進する活動を行うとともに地域興しに関する活動等を行うことにより、奄美群島の振興に寄与することを目的とする非営利活動法人です。

①海岸の環境保全及び支援事業

ビーチクリーンを主とした環境保全活動及びその支援を行う。2023年1月より新しく「ウミガメまもり隊」を発足。

②SDGs推進事業

各専門家をパネリストとして招き、実際にビーチクリーンを体験し、現在の奄美大島の抱える環境問題やSDGs課題について知り、気づく場を設けて、奄美大島のSDGs推進とシマ興しに関するイベント事業を行う。

③シマ興し事業

奄美大島のSDGs推進とシマ興しに関するラジオ番組を企画し、「エフエムたつごう」にて放送事業を行う。





活動実績

2021年

- 3月 8日 ゆいむすび実行委員会発足
- 5月 30日 「宝探しビーチクリーン」開催（用安海岸）
- 6月 11日 日本財団「海と日本プロジェクト推進パートナー」登録
13日 「鹿児島県立大島北高校ビーチクリーン」に参加（赤木名海岸）
- 7月 4日 「奄美の自然から考えるSDGs×ビーチクリーン」開催（奄美パーク）**
- 5日 奄美新聞社、南海日日新聞社に掲載**
- 26日 ビーチクリーンリベンジ×ブルーコンシャス株式会社（節田海岸）
- 8月 4日 鹿児島県「みんなの水辺サポート推進事業」活動団体認定
- 15日 ビーチクリーン（明神崎ビーチ）
- Google検索「奄美 ビーチクリーン」上位1位確認
- 9月 19日 WORLD CLEANUP DAY 2021 ×TRAVEL RICH WOMAN（明神崎ビーチ）
- 10月 5日 「ゆいらジ！」×エフエムたつごう デモ収録
「星を見に連れてってSP ver」inマヤスコ開催
- 11月 2日 特定非営利活動法人ゆいむすび実行委員会設立総会開催**
11月 4日、南海日日新聞社に掲載
- 12月 3日 MBC 鹿児島テレビ かごしま4 に出演**

2022年

- 1月 22日 NEW YEAR BEACHCLEAN with isola base amami
and 民宿さんごビーチ、コーストランドレンタカー、大和ショッカーズ in 芦徳、大和村津名久
- 2月 3日 NPO法人ゆいむすび実行委員会 鹿児島県認証
- 2月 12日 明神崎ビーチクリーン
- ご協力企業様：竹山産業開発株式会社、竹山建設株式会社
NPO法人SDGs奄美、コーストランドレンタカー
奄宿り
- 2月 13日 赤尾木ビーチクリーン
- ご協力企業様：コーストランドレンタカー、奄宿り
- 2月 18日 NPO法人ゆいむすび実行委員会 設立登記
- 4月 9日 エフエムたつごう「ゆいらジ！」放送開始【月1回】**
- 4月 23～24日 奄美群島一斉ビーチクリーン企画【#islandcleanupday2022】**
- 6月 5日 大島北高校とのSDGs推進企画（常田守さんといく湯湾岳フィールドワーク）
- 8月 21日 第一回 奄美群島学生環境シンポジウム**
- 8月 26日～28日 「世界自然遺産登録 奄美大島ツアー」共催：株式会社IWAツアー
スペシャルゲスト：鈴木香里武氏、ソウダルア氏
- 9月 18日 WORLD CLEANUP DAY 2022 参加
- 9月 25日 奄美市SDGsフェスタ ブース出展
- 10月 23日 奄美群島一斉ビーチクリーン企画【#islandcleanupday2022】

認定番号第35号
令和3年8月4日

みんなの水辺サポート推進事業

活動団体認定書



ゆいむすび実行委員会



貴団体を、みんなの水辺サポート推進事業実施要領の規定により、みんなの水辺サポーターとして認定し、次のとおり活動団体認定書を交付します。

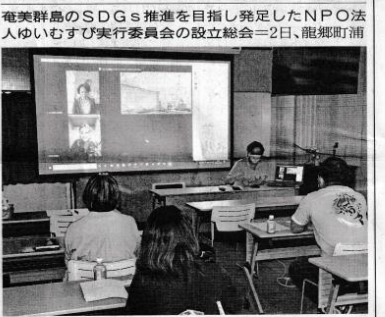
河川・海岸名 用安, 節田, 安木場海岸

区 間 奄美市笠利町用安, 節田, 大島郡龍郷町安木場

延 長 300m

鹿児島県 大島支庁建設部長





奄美群島のSDGs推進へ

NPO法人ゆいむすび実行委が設立 奄美大島

NPO法人ゆいむすび実行委員会（会長10人）の設立総会が、奄美大島で開かれた。SDGs（持続可能な開発目標）の推進を目的とした。実行委員会は、奄美大島の自然保護を推進する。SDGs（持続可能な開発目標）の推進を目的とした。実行委員会は、奄美大島の自然保護を推進する。

長野 山梨で震度3

3日午前1時19分ごろ、山梨県中・西部を震源とする地震があり、同県と長野県で震度3の揺れを観測した。気象庁によると、震源の深さは約20キロ、地震の規模（マグニチュード）は3.6と推定される。主な各地の震度は次の通り。

山梨県 中・西部を震源とする地震があり、同県と長野県で震度3の揺れを観測した。

1.6倍に

約5万1000人増加
インで調査を実施。このうち約4000人について、流行前後の依存割合などを調べた。

その結果、ピーク時を自己制御できず、仕事や学校といった日常生活よりゲームを遊ぶ時間が増えたと見られる。

日本は石炭火力全廃を

気候ネットワーク 平田仁子氏

環境分野のノーベル賞とも呼ばれる米財団の「グローバル・環境賞」に今年選出されたNPO法人「気候ネットワーク」の代表理事平田仁子氏が、石炭火力発電の全廃を主張した。

多くの国の一つで、世界の国々と共に積極的に貢献することを求めている。

一議長の英国は、先進国に対して2030年までに、少なくとも40年までに石炭火力を廃止することを呼び掛けている。

当然必要と呼び掛けている。

奄美の自然を次世代へ

住民有志がトークイベント開催 奄美パーク

奄美群島の自然保護に関するトークイベント「奄美の自然を次世代へ」が、奄美パークで開催された。

奄美群島の自然保護に関するトークイベント「奄美の自然を次世代へ」が、奄美パークで開催された。



奄美群島の自然保護などについて語る常田さん（左）ら。4日、奄美市笠利町。

廃棄物処理法 違反で男逮捕

沖永良部署

「沖永良部署」沖永良部署は4日、廃棄物処理法違反（不法投棄）の疑いで、知名町南利、職業不詳の川原敏郎容疑者（79）を逮捕した。

奄美の自然保護を考える

専門家と高校生がトークセッション

奄美群島の自然保護を考えるトークセッション「結々」が、奄美パークで開催された。

奄美群島の自然保護を考えるトークセッション「結々」が、奄美パークで開催された。



毎日の変化に注視し、決断が必要な仕事。必要なスキルを身に付ける必要がある。専門家や高校生8人が奄美大島の自然保護を考えたトークセッション「結々」を開催した。

奄美群島の自然保護を考えるトークセッション「結々」を開催した。

7月5日 南海日日新聞社

11月4日 南海日日新聞社

2021年

世界遺産の自然体感

大島北高 生徒有志ら湯湾岳散策

奄美市笠利町の県立大島北高校の生徒有志らは5日、大和村と宇検村に連なる奄美最高峰の湯湾岳を散策した。登山道沿いの希少な植物などに理解を深め、世界自然遺産に登録された



同実行委員長の奄美パーク(奄美市笠利町)で8月21日に初開催する「奄美群島学生環境シンポジウム」に

第2弾の申請もスタート

「第三者認証店応援券」販売開始

1冊5千円分が3千円

奄美市

奄美市内の飲食店の振興と新型コロナウイルス感染症防止対策を目的とした「第三者認証店応援券」の販売が7日、始まった。1冊5千円分を3千円で買えるプレミアム率66・7%の商品券。名瀬総合支所3階の商工政策課前に販売ブースが設けられ、事前購入申請した市民らが商品券を買っていった。同課によると、事前申し込みによる販売見込み数が発行冊数の1万冊に達しておらず、同日

ら入れる専用フォームでの電子申請を利用するか、購入事前申込書に必要事項を記入して奄美市商工政策課(郵便番号:894-1000、名瀬幸町2番9号)へ郵送する。ファクス0997(332)1359でも申請可能。

商品券は同事業に登録した第三者認証店で7日から使用できる。使用可能な店舗数は3日現在、108店舗。使用期間は第1弾、第2弾の応援券とも9月30

参加する群島内の高校を募集している。問い合わせは電話0800(3788)1019(はりさん)へ。



明乃花さん(奄美小)

「1冊5千円分が3千円」は1年以上前からあった。毎週1冊は金作つた。原書を中心に、植物の写真やイラスト、説明をまとめた。特徴は「写真が豊富」で、子どもが興味をもちやすいように、植物の名前や特徴をイラストで表現している。また、植物の写真を取り入れた。植物の魅力を伝えるだけでなく、自然の大切さや環境保護の大切さについても伝える。植物の魅力を伝えるだけでなく、自然の大切さや環境保護の大切さについても伝える。



島の魅力再発見!

幼魚採取と食を楽しむ

奄美市笠利町の奄美自然環境研究会が、環境保全活動の一環として、子どもたちに島の魅力を再発見してもらうことを目的として、幼魚採取と食を楽しむイベントを開催した。イベントは、環境保全活動の一環として、子どもたちに島の魅力を再発見してもらうことを目的として、幼魚採取と食を楽しむイベントを開催した。

奄美の食材で作った料理を堪能 (提供写真)

高校生が環境保全取組み発表

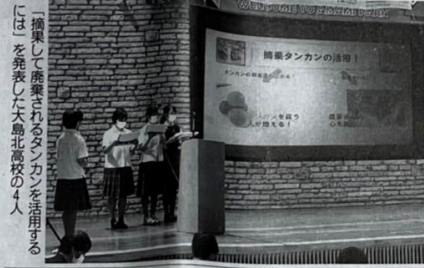
「学生環境シンポジウム」情報共有し問題解決へ

【第3種郵便物認可】

NPO法ゆいむび実行委員会（川村辰也理事長、主催の「第一回奄美群島学生環境シンポジウム」が21日、奄美市等利町の県奄美パークであった。大島北高校（奄美市等利町）と大島高校（同市名瀬）の生徒ら3グループが、環境保全の取組み内容や課題を発表。次世代が考える環境の未来について活発な意見が交わされた。

奄美群島の環境課題、奄美群島広域事務組合 加した。高の他グループは、「奄美の天然記念物の保護と共存」について発表。現状を広く周知し、未来を掲げた対策を訴えた。

大島高校の内野真緒さん（3年）は、地球に優しいプラスチックで奄美の海を守るというテーマ、環境に優しいプラスチック製品を扱う島内の「エゴ店マップ」や、環境を考慮した製品を紹介するホームページを作成するなどの、独自の取組みを展開している。



新型コロナ 奄美全12市町村188人 県内33318人、11人死亡

県は22日、新型コロナウイルスの新規感染が3318人確認された。奄美群島の感染者内訳は▽奄美市79人▽大島市79人▽大和村6人▽宇検村1人▽瀬郷町7人▽喜界町13人▽徳之島町20人▽天城町11人▽伊仙町10人▽和泊町12人▽和知町10人▽与論町6人

| 市町村 | 感染者数 |
|-------|-------|
| 奄美群島計 | 3318人 |
| 奄美市 | 188人 |
| 大島市 | 79人 |
| 大和村 | 6人 |
| 宇検村 | 1人 |
| 瀬郷町 | 7人 |
| 喜界町 | 13人 |
| 徳之島町 | 20人 |
| 天城町 | 11人 |
| 伊仙町 | 10人 |
| 和泊町 | 12人 |
| 和知町 | 10人 |
| 与論町 | 6人 |

新型コロナ新規感染者数（22日）

7人（10歳未満、70代の男女▽喜界町13人（40代、90歳以上の男女）▽徳之島町20人（10歳未満、80代の男女）▽天城町11人（10歳未満、80代の男女）▽伊仙町10人（10代、70代の男女▽和泊町12人（20代、90歳以上の男女）▽和知町10人（10歳未満、80代の男女）▽与論町6人（10歳未満、70代の男女）

4年周期で激しく増減

梅雨、九州南部の降水量

縄などに対する米軍統「奄美タイムス」のオナートになった浜崎は編集局長に、自分が住用村長時代（1946



奄美大島で27日、八月踊りも

海の生き物採集、食祭り開催

奄美の魅力に触れる体験型イベント「岸壁採集体験&食祭り・八月踊り」が27日、奄美市等利町の明神崎ビーチなどである。福岡の旅行会社アイ・タワリユー・エイ・ツアーと

奄美大島のNPO法人ゆいむび実行委員会の共催。参加無料で、主催者は「この夏最後の思い出づくりをぜひ」と参加を呼び掛けている。岸壁採集体験は奄美大島北部の漁港（芦徳または宇宿）で午後2時半から2時間。スベシャルゲストの岸壁採集家・鈴木香里武さんと一緒にタモ網を使って海の生き物を採集・観察する。会場は当日の風向きで決定する。



食祭り・八月踊りは、明神崎ビーチで午後5時から同7時半まで

- 第6022回ナンバーズ (22日)
- 【ナンバーズ3】849
 - ◇ストレート 114,300円(74口)
 - ◇ボックス 19,000円(505口)
 - ◇セット・ストレート 66,600円(171口)
 - ◇セット・ボックス 9,500円(1093口)
 - ◇ミニ 11,400円(605口)
 - 【ナンバーズ4】0591
 - ◇ストレート 607,700円(42口)
 - ◇ボックス 25,300円(792口)
 - ◇セット・ストレート 316,500円(106口)
 - ◇セット・ボックス 12,600円(2562口)

- 第1717回ト6 (22日)
- 【本数字】 15, 21, 23, 24, 33, 36
 - 【ボーナス数字】40
 - ◇1等 505, 268, 900円(1口)
 - ◇2等 9, 336, 600円(9口)
 - ◇3等 422, 000円(215口)
 - ◇4等 7, 800円(12251口)
 - ◇5等 1, 000円(202259口)
 - ◆次回繰越当せん金 0円
 - 1等は本数字6個と全5一致、2等は本数字5個と一致し、更にボーナス数字1個と一致、3等は本数字5個と一致、4等は本数字4個と一致、5等は本数字3個と一致



物に出た

する情報は127へ

る島ごとの警戒レベル

4 喜界島 / 5段階中

大島 段階中

之島 1段階中

部島 中

事項は自治体ください。

8月23日 南海日日新聞社

8月23日 奄美新聞社

2022年

自分たちに
できることからやってみる！



NPO法人ゆいむすび実行委員会メンバー

川村辰也 理事長

株式会社クレド代表取締役社長

黒瀬美樹 副理事長・企画・広報

タレント、MC

羽利英治 理事・営業・企画

竹山建設株式会社所属 英志屋代表

太 剛志 理事・沖永良部支部長

沖永良部 和泊町役場 教育委員会所属

高瀬可南子 理事

ウミガメまもり隊 隊長

吉兼裕貴 理事

新生銀行所属

後千桂子 監事

うしろ税理士事務所 税理士

二宮貴裕

相談役

西桂吾 広報

エフエムたつごう パーソナリティ
ライブハウス マヤスコ経営者

太 悠子

ふとりフラワー代表

瀧田恵里香

株式会社奄宿り代表取締役社長

寺師真実

奄美大島地域広域指導センター
広報担当 経営指導員

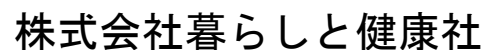
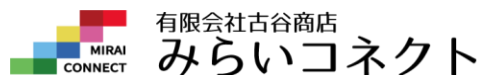
2023

プロジェクト

- Daisuke ART / 宮本 大輔 コラボ企画
- 第二回奄美群島学生環境シンポジウム エキスポ開催
- 「#islandcleanupday2023」奄美群島一斉ビーチクリーン及び通常のビーチクリーン活動
- 「ゆいらジ！」ラジオ番組月一回放送
- 2023年1月「ウミガメまもり隊」発足
- 岸壁幼魚採集家/鈴木香里武 株式会社 IWAツアー WORLD CLEANUP DAY コラボ企画



協賛



後援



※ご協力企業
ネイティブシー奄美 THE SCENE amami spa&resort
竹山建設株式会社 イゾラリゾート株式会社
コーストランドレンタカー
丸紅株式会社

※奄美群島学生環境シンポジウム協賛・後援企業
【協賛】
環境省沖縄奄美自然環境事務所
【後援】
鹿児島県教育委員会、奄美群島広域事務組合、南海日日新聞社、奄美新聞社
【協力】
鹿児島県立大島高等学校、鹿児島県立大島北高等学校

※2022/10/12現在 役員6名 正会員7名 個人賛助会員7名

※ゆいむすび実行委員会は賛助会員様を広く募集しています。
個人様、企業様（団体）からのご支援、またはスポンサーシップ
のご検討を何卒よろしくお願い申し上げます。